



「短大生遺体切断事件」記事の掲載について

中尾英司 (家族相談士・シニア産業カウンセラー)



前号に掲載された標記の記事に関して、予め記事掲載の趣旨についてきちんと説明しておいた方がよい旨中尾さんの方からお申し入れをいただきましたので、今回は事件の取り扱いに対する考えなどを掲載いたします。

(パピリオン編集部)

この度、掲載途中でこのような申し入れをさせていただいたのは、万一「新聞、週刊誌等の記事から、このように事件の分析をしてもよいのか」という思いを持たれた方が、それを掲載するPavilion誌に対して信頼を損ねることがあってはご迷惑が掛かると思ったからである。

さて、このような事件が起こると、報道された情報の中から心理学者、弁護士、警察OB、その他識者がそれぞれの観点でコメントをする。そこは、私も同じ立場である。新聞や週刊誌も人が責任を持って取材(仕事)しているわけであり、事実に関する部分は信頼してよいと思う。ただ、報道は耳目を惹かんがために、センセーショナルな取り上げ方をしがちで、勇貴容疑者及び亜澄さんも、共にあまりにも一方的で、スクランダルな見方のままに葬られることが可哀相で仕方がなかったため、ブログに連載を始めた。しかし、その記事も期間限定で削除することを考えていた。私も人の親。ご両親他ご関係者の方々のことを考えると胃が縮む思いで書いていたからである。

ではなぜ連載したか。それは、問題を加害者と被害者の当事者間だけに限定してしまえば、そこでこの問題は切り捨てることのできる。そして、この事件から、社会は



学ぶことをせず、再び同じような悲劇が繰り返されることになるからだ。家族という「現場」に身を置き、「無意識」と「連鎖」の問題と対峙している私から見ると、この事件から今の日本社会が学ぶべきことは沢山あると思ったからである。

私がこの事件で行った分析は、家族カウンセリングの現場でも行っているものである。ただ、家族カウンセリングの場合は、相手の状況を見守りながら「半歩後に行く」形で個別にフィードバックしていくため無理がない。

仮に、このご家族が私にカウンセリングを依頼してきたら、私は先ず一人一人のお気持ちを受け止め、それぞれの人生を肯定する。そこにはただ「状況」があり、その状況の中で人は健気に懸命に生きているだけなのである。責められる人はどこにもいないからだ。

けれど、こういう結果が出てしまった。しかし、結果を責められたくない親は子を責めてしまうことが多く、その結果から学ばなければ全ての関係者が未来永劫救われぬまま

<著者紹介>

中尾英司

(家族相談士・シニア産業カウンセラー)

■メール:sodan@jiritusien.com

■プロフィール:産和発酵で組織改革を成功させ、「あきらめの壁をぶち破った人々」として出版し独立。その後少年A(酒鬼薔薇)の洗脳心理を解き明かした「あなたの子どもを加害者にしないために」を出版。不登校、虐待、引きこもり、ギャンブル依存、モラハラ、DVなどの問題を抱える家族を家庭訪問している。企業講演やワークショップを行う他、産業カウンセラー試験作成委員(2006)、テレビ東京、TBSにコメント出演。

■著作:「あきらめの壁をぶち破った人々」(日本経済新聞社)、「あなたの子どもを加害者にしないために」(生活情報センター)

■サイト:「中尾相談室」、「組織改革支援COM」

■ブログ:「あなたの子どもを加害者にしないために」

※中尾先生のオンライン講座も開講中です。

詳しくはサイト/中尾相談室を参照。

になるのである。そして、無意識の連鎖は残された者に引き継がれ、そこで悲劇が起こることになる。

その将来起こる可能性のある悲劇を避けるために、自分がどういう連鎖の中にいるのかに気づいてもらわなければならない。そこで私は子の思いを伝え、いつしか「子は親の鏡」ということに気づかれる。その過程で自分と自分の親との問題にも気づいていくことになる。

そして、親の中にいるインナーチャイルドの癒しも行う。親もまた大きな子供であり、最終的には親が救われなければ、子は救われぬからだ。私の家族カウンセリングは、このようにして「愛情への飢え」の連鎖を絶ち、個々人が自律した自分オリジナルの人生に踏み出してもらおうことが目的なのである。

アメリカ中西部で発行するパピリオンで、経験・実績を積む！
マスコミ業界、広告業界を実践でまなびたい！

学生インターン募集！

1. 広告プランナー/広告営業 2. 雑誌編集記者

Pavilion

Pavilion Graphics Inc.(採用担当)

Tel:(847)640-9676

E-mail: pavilion@johoya-usa.com



以上が私のカウンセリング姿勢である。原因を突き止めてそれを取り除くというような西洋流の考え方ではなく、状況に気づいてもらって自らを変えていくというやり方だ。どのような状況であれ、変わることができるのは自分であり、人を変えることは出来ない。そして、自分が自律的に変化していくと、関係者も自律し始める。つまり、人は環境から影響も受けるが、自分が変わることにより環境を変えることも出来る。これが私の依拠するシステムズアプローチの考え方である。犯人捜しをしても意味がない。大切なのは、今これからどう生きるのかということだ。そのために

は、行動を妨げている感情を吐き出すこと。自分の立ち位置を自覚すること。この2つが必要だ。気持ちが楽になり、自分がどういう状況にいるのかが理解できると、人は自らの力で行動できるからである。そのため、気持ちを受け止めるカウンセリングと連鎖の問題への気づきの両方を私は行っているのである。

しかし、記事として書く場合は2つの苦しさがある。

1つ目は、相手が望んでいない分析をしているということ。

2つ目は、犯人捜しと捉えられやすいということ。

これらの「一方的」な姿勢は、自分の姿勢に反することだ。カウンセラーは宗教のように勧誘には行かないし、望んでいない分析もしない。それらはいずれも「自律」を妨げることになるからだ。「天は自ら助くる者を助く」の言葉の通り、カウンセラーは手を挙げた人の所へしか行かないし、行っても先回りはいらない。

しかし、事件から学ばなければ、また犠牲者が出てくる…。私はいつも残された当事者と現在及び将来の「犠牲者」の間にいる。犠牲者とは、加害者と被害者のことだ。私は加害者の親のカウンセリングもしている。被害者の親の気持ちを思うとき、加害者を許すことはできない。だからこそ、加害者の親の自律を支援する。そこからしか真の意味での被害者の救済は始まらないからだ。

すべからく「事件」というものは、社会がおかしくなっていることを示すサインである。そのサインが伝えるメッセージに気づこうとしないために同じ悲劇が繰り返されている。「事件」は犠牲を伴った社会への問いかけである。だから、犠牲を増やさないためにフィードバックする必要がある。私は、そういう思いで事件の分析をしている。(中尾英司)



バビリオン＜今月のウェブサイト＞

編集部が見つけた興味深い又は充実内容のお役立ちサイトをご紹介します！

キーワード：アダルト・チルドレン、AC、モラハラ、共依存

Care & Support
http://ally.client.jp/ac-fram.htm



コメント：個人のサイトだが内容が非常に充実しており、知識習得の際に参考になる。「アダルト・チルドレンとは」、「なぜ、あなたはACなのか」、「どうすればACから回復できるか」など、心当たりのある方にとってはかなり考えられる部分もかなり多いだろう。カウンセリングは専門家の領域なので行なわれていない。よって、まずは知識習得としてご参考いただきたい。その他、「ドメスティック・バイオレンス(DV)」、「モラル・ハラスメント」、「共依存」など、ひとりで悩んでいる方、また心当たりの被害者・加害者も、情報収集、知識習得に活用してもらいたいサイトのひとつである。



ここアメリカで故郷の料理を・・・アメリカのキッチンでだって簡単に作れちゃう懐かし日本の郷土料理をご紹介します！作り方も「いたってシンプルでかんたん！」ということで、毎号、日本全国・東西南北かけめぐってマス。By みらく

日本の郷土料理29(埼玉県編) 今月のメニュー：かてめし

ということで今月は埼玉県。「おあがんな」とは秩父地方の方言で「さあ食べなさい」という意味なのだとか。秩父の郷土料理は他にも「きやらぶき」、「炭酸まんじゅう」、「にしめ」、「えびし」、「栃もち」、「ゆべし」など盛り沢山。今日はその中の一品「かてめし」をご紹介します。

かてめしの作り方

- 一、ごぼうをささがき、水につけてあくを抜く。
- 二、油揚げは油ぬきをして細切り、大根、にんじん、椎茸は短冊切りにする。
- 三、ごぼう、大根はさっとゆがく。
- 三、鍋に油を熱し、材料を炒める。
- 四、炒めた材料に水を入れ、一煮立ちしたら調味料を入れて、煮汁のなくなるまで煮込みます。
- 五、炊き上げたご飯に具を混ぜ合わせます。

材料(6人分)

- 白米……………420g(3合)
- 大根……………150g
- ごぼう……………50g
- にんじん……………50g
- 干し椎茸……………4～5枚
- 油揚げ……………1.5枚
- 調味料 油……………大さじ1杯
- 水……………100cc
- 醤油……………大さじ3杯
- 砂糖・みりん・酒……………各大さじ1杯
- 塩……………小さじ2/3杯
- だしの素……………適宜

(参考サイト&写真)秩父の郷土料理
http://www.pref.saitama.lg.jp/

和製英語

■エツクナ(言動)

正しい英語→ dirty

(「性格や気分が」エツクナという場合はhornyも用いる。)

■エネルギッシュ(な)

正しい英語→ energetic

■グーサイン

正しい英語→ green light

(「グーサイン」も出る場合は give...the green light)

■ジャスト(ちょうど)

正しい英語→ exact(ly)

(「just」は「単に」、「単なる」、「に過ぎない」という意味。It's just nine.「まだ9時です」)

(参考：和製英語 カタカナ英語を正す辞典)